

(別紙2 - 1)

## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 12 月 5 日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4270400940		
法人名	中村合名会社		
事業所名	グループホームつきとほし		
所在地	諫早市福田町2番22号		
自己評価作成日	平成24年11月2日	評価結果市町受理日	平成24年12月12日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目七二一七 島原商工会議所 一階
訪問調査日	平成24年11月19日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

《つき》「明るい笑顔でほのぼのと、ありのままの私とあなたで過ごしましょう」の理念のもと、その人らしさを大切にし、お一人おひとりの想いに寄り添えるような個別のケアを目指しています。外出が好きな利用者様が多く、安全に配慮した上で、毎月お花見などの外出支援を行っています。菖蒲見物では多くの家族様にも参加して頂き、とても素晴らしい笑顔を見る事ができました。10月には花火大会にも出掛け、拍手して喜んで下さいました。思い出としては残らない事が多いですが、その時その時の輝いた笑顔を大切にしたいと思っています。

《ほし》入居者が一番楽しみにしている食事に力を入れています。季節の食材を使った料理をおいしく食べて頂けるようにメニューを職員全員が交代で考え、提供させて頂いています。殆どの方が義歯のため、固さ加減なども考えながら作っています。体調管理をしっかりと行い、いつまでもおいしい物を食べて頂きたいと職員全員で取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

利用者の元気な声や笑顔から落ち着いた楽しい日常生活がうかがえるホームである。職員は暖かく飾らない親しみやすさに加え、真摯に支援に向き合う実直さがあり、利用者家族とも信頼関係が築かれている。また、家族交流会や行事に多くのご家族が参加して下さるなど、今期はなお一層の連携を図ることができた。2階と3階にある2ユニットはそれぞれに行事や食事内容など工夫をこらしており、どちらも利用者お一人おひとりの個性や暮らしを大切にした支援を行っている。今後は家族や近隣の親戚や友人、知人が気軽に訪ねやすいホームとなっているので、更に地域、近隣との関係づくりを行っていきたいと意欲を持っている。

## 1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<b>理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「明るい笑顔でほのぼのと、ありのままのあなたと私で過ごしましょう」を基本理念とし、その人らしさを失わず、その人らしい生活が地域の中で送れるよう取り組んでいる。	ユニットごとに理念を作り、リビングに掲げている。利用者がふと読み上げたり、唱和することもあり、明るく穏やかなホームの暮らしの中で自然に定着している。	
2	2	<b>事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	夏祭り参加したり散歩に出掛けたりして近隣の方との顔馴染みの関係を築ける努力はしているが、まだ十分とは言えない。小中学生の職場体験の受け入れは、積極的に行っている。	「諫早市高齢者作品展」に出品したり、運営推進会議のメンバーからの情報で地域行事に参加するなど、きっかけを得て地域とのつきあいを広げてきた。今後も地域との関係づくりを進めていきたいと考えている。	
3		<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議に出席されている方々には理解してもらえよう取り組んでいるが、地域の人々に向けての活動や支援は、十分にできているとは言えない。	/	/
4	3	<b>運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では入居者の状況や行事などを報告し、議題を決めて外部の方々の率直な意見や質問・感想・提案などを頂くようにして、サービス向上に生かせるよう努めている。	会議は雑談もできる打ち解けた雰囲気で行われ、支援に繋がるご意見や情報をいただいている。また運営推進会議録をご家族に送付することで、ホームからの報告や参加メンバーからの質問や意見が共有できている。	
5	4	<b>市町との連携</b> 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議や介護保険の申請時などに相談や情報交換をするなど、連携を深めるように努めている。	運営推進会議には必ず市職員に参加いただいている。相談内容によって、複数の担当課に集まっていたいただいた例もあり、気兼ねなく相談できる良い関係を築いている。	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>落ち着かれない方には一緒に散歩に出たりマンツーマンのケアを行い、気分転換を図るなど、拘束をしない取り組みをしている。日々のケアにおいては、言葉による拘束をしないように努めている。</p>	<p>内部研修を行い職員の意識の向上を図っている。安全の確保のため必要最低限のベット柵の使用にあたっては家族に説明し、スタッフ会議においてその必要性について常に再検討している。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>スタッフ会議時など拘束や虐待についての意識付けを再確認し、防止に努めている。特に日々のケアの中での声かけには注意を払っている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるような支援している</p>	<p>権利擁護に関する資料を作成し、勉強会を行い、支援できる体制作りに努めている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には、対応可能な範囲についての説明も含め重要事項や契約書の説明には時間をとり、慎重に説明し、納得を得られるよう努めている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族には担当者会議や面会時に、意見や要望など気軽に話して頂ける雰囲気作りを心掛けている。家族からの意見や希望は職員への周知徹底を行い、日々のケアに反映できるよう努めている。</p>	<p>行事に参加いただいたり、ユニットごとに年一回の「家族交流会」を開催して家族と職員、家族同士の親睦を図り、意見を出しやすい環境づくりを行っている。食事や医療連携に繋がる意見などをいただき希望に添えるよう取り組んでいる。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>日頃より職員の意見や要望を聞くように心掛け、スタッフ会議などで一緒に話し合い、調整するよう努めている。</p>	<p>職員はチームワークがよく、和やかな話しやすい関係を築いており、支援に関する意見が活発に出され実践に繋がっている。勤務に関しては職員の希望に沿ってシフトを組んでいる。</p>	

12	<p><b>就業環境の整備</b></p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>各職員には役割や担当を決めて、責任を持って取り組んでもらっている。休憩室はあるが、勤務時間中には活用できていない。</p>		
13	<p><b>職員を育てる取組み</b></p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会や講習会にはなるべく多くのスタッフが受講できるように努めている。研修会などの資料は全職員が閲覧できるようにしている。</p>		
14	<p><b>同業者との交流を通じた向上</b></p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>毎月実施されるグループホーム連絡協議会の研修会に出席し、同業者との交流や意見交換などを通じて、質の向上や意識付けに取り組んでいる。</p>		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15	<p><b>初期に築く本人との信頼関係</b></p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に家族・担当ケアマネから十分な情報を提供してもらい、全ての職員が把握できるよう努め、本人の安心できる環境作りを心掛けている。</p>		
16	<p><b>初期に築く家族等との信頼関係</b></p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に見学に来所して頂き、入居者の状況や家族からの要望などを聞き、安心して利用して頂けるよう話し合いの場を作っている。</p>		
17	<p><b>初期対応の見極めと支援</b></p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人・家族の意見や要望を聞き、改善に向けた支援の提案や相談を行い、必要に応じて他のサービス機関の紹介を行うなどの対応をしている。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>人生の先輩でもあられるので、生活の知恵・文化など学ぶ事がたくさんあり、コミュニケーションを取りながら信頼関係を築いている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時に本人のホームでの生活状態の様子や行事報告などするとともに、家族と職員の信頼関係が築けるように心掛けている。毎月のお便りにも担当者より一言メッセージを添えている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうち、支援に努めている</p>	<p>遠距離の方には葉書や写真を送ったり、電話で話ができるよう支援を行っている。又、親戚や知人・家族で飼われているペットと一緒に気軽に面会に来られるような雰囲気づくりに努めている。</p>	<p>利用者の友人や親戚に気兼ねなく訪問していただき、利用者が楽しい時間を過ごされている。年賀状や暑中見舞いを送ったり、利用者が詠まれた短歌を定期的に縁のある方に送るなど個別にも支援している。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者の仲介に入り、会話を促したりトラブルが起きないように常に配慮しながら支援に努めている。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所後面会に行く事もあるが、一部の方にしかすぎず、頻回ではない。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日常生活の中で本人の状態を把握し、毎日の申し送りなどで全職員が共有し確認し合っている。</p>	<p>普段から会話を重ね、利用者の思いを引き出すよう心がけている。利用者の言葉はニュアンスも含めて詳細に記録して職員が共有し、思いに応え、思いに近づける支援に繋げている。</p>	

24	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>アセスメント表やコミュニケーションでの本人・家族との会話などで把握し、日常の中でも途絶えないようサービス提供に努めている。</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>毎日のケース記録でモニタリングもできており、一人ひとりの日々の健康管理と状態把握に努めている。</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人・家族から要望・意見を聞き、今後のケアに向け全職員で話し合いながら介護計画を作成している。モニタリングについては毎月のスタッフ会議で行い、次の介護計画の見直しにつなげている。</p>	<p>担当職員がモニタリングを詳細に記録し、評価も行っている。その評価に介護支援専門員がコメントを加え、次回の介護計画、支援に対する全職員の共通理解、支援の充実へと繋げている。また家族や医師等の意見もいただき介護計画を作成している。</p>	
27	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別のケア日誌・ケース記録があり、その日の様子を記録している。申し送り帳もあり、勤務前には確認し押印するようになっているため、職員での情報共有にもつながっている。</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>契約時に、通院は家族にお願いしているが、その時の状況により付き添ったり受診対応も含め、安心して頂けるように取り組んでいる。</p>		
29	<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>行きつけの美容室・かかりつけの病院など、入居者が安心して利用できるように支援している。運営推進会議では地域の方との情報交換もできており、地域行事にも参加している。</p>		
30	11 <p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>それぞれにかかりつけ医があり、基本的には家族同行の受診となっているが、不可能な時には職員が代行している。受診や往診の結果は、都度家族に連絡し報告している。</p>	<p>利用者各自の主治医や協力医の定期的な往診があり、また歯科の往診も行なわれている。家族との連携を行い適切な医療に繋げている。</p>	

31	<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師がいないため状態の変化がみられた時には主治医に連絡・報告し指示を仰いでいる。</p>		
32	<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供している。職員が見舞いに行くなどし、家族とも回復状況を情報交換しながら早期に退院できるよう努めている。</p>		
33	12 <p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>状態の変化に伴い、家族と今後、本人にとってどうするのが一番良いのか話し合いの場を持ち、家族の支えになるよう努めている。重度化した場合、事業所ではどこまでの支援ができるか書面にて説明した上で理解を得ている。</p>	<p>終末期には対応していないが、利用者、家族の同意を得ており、適切な時期に一緒に話し合い、最適なアドバイスをを行い、協力することで利用者を支援している。</p>	
34	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>一人ひとりに対応する急変時のマニュアルを作成している。緊急連絡のマニュアルも目に付く所に貼り、日頃より意識するよう努めている。応急手当の研修会などにも参加しているが事業所での定期的な訓練を実施していきたい。</p>		
35	13 <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>運営推進会議での呼びかけによる地域との協力体制はできている。消防署立ち合いの避難訓練は実施したが、地域住民の方の参加は実施できていない。</p>	<p>緊急避難時の持ち出し用ファイルや非常用持ち出し袋を用意している。年二回、夜間対応も含めて避難訓練を行っており、今後さらに近隣との連携を進めていきたいとしている。</p>	<p>非常食、飲料の備蓄についての検討を行うことを期待したい。</p>



その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重した声掛けや対応を心掛けている。特にトイレ誘導時や失禁時には他の入居者にわからないように耳元で声掛けて対応している。	利用者との会話や言葉かけが強い口調になっていないか常に振り返りを行っている。職員はその場でお互いに注意し合い、また会議で意識を共有している。個人情報の取り扱いについても注意を払っている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりにわかりやすい声掛けで対応し、できるだけ自己決定ができるように支援している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	全体的な一日の流れはあるが、一人ひとりのペースや体調に合わせ、できるだけ本人の気持ちを大切にしている。本人の希望することに少しでも近づけるよう個別の対応に努めている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	美容師に来てもらったり家族と行きつけの美容院へ外出される方もおられる。朝の更衣は介助が必要な方には好みの服を選んでもらい、本人の希望に沿えるよう支援している。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理・盛り付け・後片付けは職員と一緒に、食事は同じテーブルで楽しく頂けるような雰囲気作りを心掛けている。特に行事時のメニューは入居者と相談しながら決めている。	ユニットごとの利用者の好みに合わせた献立で、利用者の楽しみな時間となっており、時には中庭やプランター菜園での収穫物が食卓に上っている。職員が同じ食事を取っていることで会話が弾み、きめ細かいチェックができています。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事の摂取量は配膳時に加減し、食後に摂取量をチェックして個別のケア日誌に記入し、把握できるようにしている。飲み込みが悪い状態の時はとるみを付けたり刻んだりして提供している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後行っている。一人で行ける方は磨き残しがないよう声掛けし、できない方は一緒に行っている。食事前には嚥下体操を行い、誤嚥防止に努めている。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	各自の排泄チェック表を参考に、トイレ誘導を行っている。羞恥心を傷つけないように配慮している。	適切なタイミングで声かけし、安全に配慮しながらトイレでの排泄を支援している。布パンツやリハビリパンツ、パッドを使い、夜間も排泄パターンと職員の観察による誘導でトイレを使用している。	

44	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>便秘の方にはすぐに薬に頼らず、繊維質の多い食材や水分摂取をして頂き、運動などで自然排便につながるようになっている。主治医との相談で内服薬が処方される時もある。</p>		
45	<p>17 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>午前・午後と入浴する事ができ、本人の希望される時に入浴して頂いている。入浴剤で色・香りを楽しんでもらえるように工夫している。</p>	<p>利用者は週2回から3回入浴されている。職員は一番風呂や温めのお湯など利用者の好みを把握し希望に沿った支援をしており、入浴拒否傾向の利用者にも工夫して対応できている。また、季節を感じられるゆず湯や菖蒲湯なども行っている。</p>	
46	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>一日の生活リズムの中で日中の傾眠を少なくし、夜間良眠できるよう適度の運動をして頂いている。</p>		
47	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>各自の薬ケースにセットしており、毎回名前・日付を確認し、飲み込まれたかのチェックも徹底している。処方箋も見やすい所に貼ってあり、薬の効力・注意事項を確認できるようにしている。</p>		

48	<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>利用者の体調を見ながらできる事をしてもらっている。短歌作りや花を生けてもらったりして楽しむ事を増やせるようにしている。</p>			
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>毎月ではないが、四季折々の花の見物に出掛けている。今年初めて家族と外出する事ができ喜んで頂いたため、今後も家族の協力を得ながら実施して行きたい。</p>	<p>菖蒲見物やコスモス見物、ペンギン水族館訪問、外食などの外出支援を行った。また誕生日のプレゼントとして外出の個別支援を行うこともあった。現状では難しい面もあるが、できれば個別の外出の機会も増やしていきたいと考えている。</p>	<p>個別の外出支援について、段階を追った目標の設定や工夫、柔軟な発想により機会を増やしていくことを期待したい。</p>
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>殆どの方がホームで管理しているが、お金の管理ができる方は家族の了解を得て所持されている。おやつ・日用品などの買い物も本人の希望に沿えるよう支援している。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>毎年賀状・暑中見舞いの葉書を自筆で一言添えて出している。短歌作りが好きな方には、いい作品ができたなら遠方の家族などに出している。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビング・居室に入居者と一緒に行った作品を飾ったりしている。テーブルには花を生けて季節感を感じて頂けるよう努めている。</p>	<p>玄関やリビングに季節の花を飾り、穏やかな明るさで落ち着いた暮らしの場となるよう配慮されている。利用者に意見を伺いながら心地よい空間づくりをしている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングにはくつろいでテレビを観られるようソファを置き、廊下には日向ぼっこができるよう椅子を配置する工夫をしている。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染んだ物や好みの品物など居室に飾られ、生活感があり心地よく過ごされるようにして頂いている。	利用者は筆筒や思い出の品等を持ち込み、自由に自分らしい部屋作りをされている。また職員が濡れタオルでの加湿や居室での安全確保などの心配りをしている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや洗面所など解りやすいように大き目に表示している。車椅子使用の方はタンスの位置に合わせ、手すりを取り付け自立した生活を送れるような工夫をしている。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

## 1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<b>理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	住み慣れた地域の中で安心して暮らせるように、掲げた理念を今まで以上に全員で意識し、取り組んでいる。		
2	2	<b>事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	保育園・学校から来て下さり、交流を楽しまれている。散歩・買い物などにも出かけ、地域の方とあいさつを交わしている。町内会にも参加している。		
3		<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	グループホーム交流会、運営推進会議などに参加し、認知症について勉強し、理解を深めている。人材育成の貢献として、実習生の受け入れも積極的に行っている。		
4	3	<b>運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に一回開催している。こちらの様子を報告し、それに対しての意見などを聴かせて頂き、参考にしている。		
5	4	<b>市町との連携</b> 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	認定更新時には日頃の入居者の様子を伝えている。市の担当者が変わりましたが、今までと変わらない関係が築けている。		

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>入居者の立場で身体拘束しないケアについてミーティングを行い、安全面に配慮しながら自由な暮らしを支える様にしている。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>スタッフ会議の中で意見を出し合い、不適切なケアをしていないか話し合っている。日々の生活の中でも、お互いに注意を払っている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>対応が必要と思われる利用者があるが、必要な支援が出来る体制が出来ていない。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に説明を行っている。利用料金・事業所の対応可能な範囲・緊急時の対応など納得を得られるような説明に努めている。又、解りやすいように印刷物を用意し、渡している。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族からの意見・要望・苦情に対しては前向きに受け止め、その都度検討し、改善に向けて取り組んでいる。又、家族の立場に立った説明を心掛けている。</p>		
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>スタッフ会議において意見・要望など問いかけるように心掛けているが、不満や苦情は言い難い部分も多いので、把握できていない可能性もある。</p>		

12	<p><b>就業環境の整備</b></p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>年2回の健康診断を実施している。休憩室はあるが、勤務中に休憩する時間は取れていない。労働時間超過の消化ができていない。</p>		
13	<p><b>職員を育てる取組み</b></p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会・講習会を受講できるように心掛けている。受講したものは資料などを整理し、いつでも閲覧できるようにしている。</p>		
14	<p><b>同業者との交流を通じた向上</b></p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>毎月定例で実施されるグループホーム連絡協議会に出席し、他のグループホームとの交流・意見交換などを通じて、質の向上に取り組んでいる</p>		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15	<p><b>初期に築く本人との信頼関係</b></p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前面談で生活状態を把握するように努め、又、家族にセンター方式の一部を渡し、記入して頂くようお願いしている。本人がおかれている状況を理解し、言葉かけを多くするように心掛けている。</p>		
16	<p><b>初期に築く家族等との信頼関係</b></p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所に至るまでの家族の苦勞などしっかり聴き受け止めながら、これからどのような生活を送って欲しいのかを尋ね、家族の思いを理解するように努めている。</p>		
17	<p><b>初期対応の見極めと支援</b></p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人・家族の思いを受け入れ、すぐに実行できる事と話し合いを設けなければできない事も含め、柔軟な対応を行うように努めている。</p>		



18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>野菜切り・箱作りなど得意分野で力を発揮してもらい、役立っていることを感謝の言葉で伝え、お互いに支え合える関係を築いている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>本人の様子・行事など、毎月ほし新聞を発行し報告している。又、家族の訪問時・電話などでも様子を報告し安心して頂けるように心掛けている。又、職員の言葉かけでは入浴して頂けない入居者には家族に協力して頂き、スムーズに入浴することができている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている</p>	<p>地域で暮らす知人・友人達が面会に来て下さり、居室で賑やかに会話されている。又、行きつけの美容室から送迎してもらい、今も利用することができている。</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者同士の関係性は全職員が把握している。入居者同士の関係がうまくいくようにゲーム・食事など楽しく過ごせる雰囲気作りに努めている。時には席替えをすることで今までと違った関係を見出すことがある。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退居された家族の方から友人の家族が入居したいとの相談もあり、対応している。外で出会った時などは、利用中の思い出を懐かしんだり良い関係が築けている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日々の生活の中で、入居者が何でも気楽に話せる雰囲気作りに努め、希望・意向を把握出来るよう取り組んでいる。</p>		

24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居前にセンター方式の一部を記入して頂き、生活歴を把握するように努めている。地域との関わりも途絶えないように取り組んでいる。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>毎日の生活リズムを大切に、発する言葉の強弱によっても精神状態を把握することができている。又、その日の様子をケース記録に記入している。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人・家族から要望・意見を聞き、今後のケアに向け、全職員で話し合いながら介護計画を作成している。モニタリングは、毎月スタッフ会議の中で行っている。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別のケア日誌・ケース記録があり、その日の様子を記録している。また、申し送り帳があり、必ず勤務前には目を通し、確認のため押印するように義務付けている。一人ひとりに担当者がおり、日々の様子をより深く観察することができている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>契約時に通院は家族にお願いしているが、その時の状況により付き添ったり、受診対応も含め、安心して頂けるように取り組んでいる。</p>		

29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>行きつけの美容室・かかりつけの病院など、入居者が安心して利用できるように支援している。運営推進会議では地域の方との情報交換もあり、参考にしてている。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族が希望するかかりつけ医となっている。又、受診に関しては家族にお願いしており、不可能な時は職員が代行するようにしている。その旨は契約時に説明し、同意を得ている。最近では往診での診察が増え、往診時に立ち合う家族もある。</p>		
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>入居者の健康管理、状態の変化に早く対応できるように毎朝バイタルをチェックし、ケア日誌に記入している。看護師がいないため、状態に変化があった時は主治医に報告し、指示を仰いでいる。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は本人の情報提供を医療機関に提供し、入院によるダメージを少しでも防ぐため、職員がお見舞いに行き本人と会話をして、安心して頂けるように配慮している。ホームでの対応可能段階で早期退院ができるように医療との連携を図っている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に事業所が対応できる重度化についての説明を行っている。事業所としてはターミナルケアは行ってない。</p>		

34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルは作成し、周知徹底は図っている。又、スタッフ会議で資料を配布し話し合いは設けているが、定期的な訓練などは実施していないため、必要な時に対応できるか不安もある。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域の消防署や消防団にも参加して頂いて、年に2回の避難訓練を実施している。又、マニュアルも作成し、非常持ち出し品もすぐ持ち出せるように準備している。</p>		
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>一人ひとりの人格を尊重し、日々の関わりの中でプライバシーを侵害したり命令的な言葉使いになっていないかなど、常に確認し改善に向けて取り組んでいる。</p>		
37		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日常生活の中で一人ひとりに合わせた会話を心掛け、本人の希望・好み・今何がしたいかなどを少しでも把握できるように取り組んでいる。</p>		
38		<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>全体的な一日の流れはあるが、本人のその時の体調・気分などに配慮しながら対応している。一人ひとりのペースに合わせた対応が不十分な時もあり、工夫と取り組みを考えていきたい。</p>		

39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃ れができるように支援している	普段の衣類は本人に任せてい るが、外出着の時は一緒に選 んだりお手伝いをしている。 美容室は本人の行きつけを利用し、カットも本人の希望で 決定して頂いている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、 一人ひとりの好みや力を活かしながら、 利用者と職員と一緒に準備や食 事、片付けをしている	調理前の準備として野菜切 り・皮むきなど手伝って頂い ている。食事職員と一緒に 会話をしながら楽しんでいる。 後片付け・食器洗いも一 緒に行っている。季節の食材 も取り入れ、昨年今年と芋掘 りも体験し、とても喜ばれて いた。おやつに蒸し芋で食べ られた。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量 が一日を通じて確保できるよう、一 人ひとりの状態や力、習慣に応じた 支援をしている	個別のケア日誌の中に記入し 把握できるようにしている。 その時の体調によってはおか ゆ・消化の良い物を提供し、 飲み込みの悪い時はとろみを 付けたり刻んだり、食べやす い工夫をしている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよ う、毎食後、一人ひとりの口腔状態 や本人の力に応じた口腔ケアをして いる	毎食後に行っている。一人で できる方は磨き残しがないか 見守り、できない方は一緒に 言葉を掛けながら行ってい る。食事前には嚥下体操を行 い、誤嚥防止に努めている。 口臭が強い方にはデンタルリ ンスを使用している。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減ら し、一人ひとりの力や排泄のパター ン、習慣を活かして、トイレでの排 泄や排泄の自立に向けた支援を行っ ている	利用者全員がトイレで排泄で きるよう支援しており、布パ ンツもしくは尿とりパッドを 使用している。排泄パターン を把握しており、見守りなが らプライドを傷つけないよう にさりげない対応をしてい る。		

44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>便秘の方にはすぐに薬に頼らず、繊維質の多い食材・水夫船摂取・運動などで自然排便につながるよう取り組んでいる。主治医との相談で内服薬が処方される時もある。野菜・繊維質の食材不足も考えられるため、毎朝野菜ジュースを提供している。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴をしたがらない入居者には家族の協力でスムーズに入浴することができている。一人ひとりのお湯の温度を把握しており、気持ち良く入って頂けるように支援している。入浴剤で色・香りを楽しんで頂いている。</p>		
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>一日の生活リズムの中で日中の傾眠を少なくし、適度の運動で夜間良眠できるように支援している。又、空腹で目覚められる時もあり、はちみつ湯・バナナなど提供することで良眠できる事もある。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>個別の薬ケースにセットしており、毎回名前・日付を確認し、手渡している。処方箋も見やすい所に貼っており、副作用なども確認できるようにしている。錠剤が服薬しにくくなっている入居者には粉碎に変更できないか、主治医に相談している。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>その人ができる事を把握しお願いすることで、自分の役割として力を発揮することができ、自信につながっている。職員は感謝の気持ちを伝えるように統一している。</p>		

49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>全員での外出支援は年間の行事として行っているが、一人ひとりが希望する場所への外出はまだ不十分だと思う。今後は家族や地域の人達の力を借りながら希望に沿った外出ができるように取り組んでいきたい。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>殆どの方はホームで預かっている。買い物をする機会も少なくなって来ているため、本人の財布から支払うことは殆どなくなっている。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>家族・友人など面会に来て下さる方が殆どで、手紙のやり取りは殆どないが、電話をかけたいとの要望がある時は、職員が番号を押し本人に受話器を渡している。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関・リビングには季節の花を飾り、季節感を取り入れている。室温・音量なども入居者に尋ねるように心掛け、快適に過ごせるように取り組んでいる。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>一人で過ごしたい時は居室に行かれたり、リビングでは皆さんと食事やゲームを楽しまれている。和室にはソファやテレビがあり、落ち着いてくつろげる場所がある。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使い慣れた品物・家具などを持ち込んで頂き、居心地の良いように本人・家族と相談しながら居室作りを行っている。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室入り口にはネームプレートを下げ、トイレ・洗面所には解りやすいように記入した紙を貼っている。又、押し車・車椅子の使用もあり、物の配置にも配慮している。		

**アウトカム項目**

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
		2, 利用者の2/3くらい
		3, 利用者の1/3くらい
		4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまにある
		4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
		2, 家族の2/3くらいと
		3, 家族の1/3くらいと
		4, ほとんどできていない



64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない